

環境省と 「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を 締結します

株式会社 KASSE JAPAN(熊本市中央区花畑町 4 番 3 号 代表取締役社長:有元 隆)は、令和 5 年 12 月 21 日(木曜日)に、環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結します。これは環境省が推進する「国立公園オフィシャルパートナーシッププログラム」にもとづき、同省と企業・団体とが相互に協力し、日本の国立公園の魅力を広く発信することで国内外からの利用者の拡大を図り、自然環境保全への理解を深めるとともに、国立公園が所在する地域の活性化を目指すものです。

熊本県は県内に 2 つの国立公園(雲仙天草国立公園(天草地域)、阿蘇くじゅう国立公園)を擁しています。弊社は、それぞれの国立公園内に事業拠点として「ミオ・カミーノ天草」と「阿蘇山上ターミナル」を置き、また、国立公園の魅力訴求と認知拡大を目的としたさまざまな国や県による事業推進の後援に取り組んでまいりました。インバウンド需要の回復が加速するなか、国内外を問わず本県への観光流入数が増加傾向の状況において、今回の締結を契機に、これまで以上に来訪者にとって満足度の高い国立公園となるよう、後述の取組を中心に実施してまいります。

なお、今回の締結式は第 12 回目となり、弊社を含む全国から 8 つの企業・団体が参画し、締結予定となっています。環境省からは伊藤信太郎環境大臣をはじめ、白石環境省自然環境局長以下、国立公園を主管する省内幹部が出席予定です。

◆「国立公園オフィシャルパートナーシップ」詳細

国立公園満喫プロジェクト※の一環として、民間企業と相互に協力して、日本の国立公園の魅力を世界に向けて発信し、国内外の利用者の拡大を図るため、2016 年 11 月に国立公園オフィシャルパートナーシッププログラムを開始しました。これまで全 11 回の締結式を実施し、129 社(2023 年 11 月時点)が環境省と国立公園オフィシャルパートナーシップを締結しています。広報誌、ウェブサイト、施設等での国立公園の情報発信や国立公園を目的地とした旅行商品の造成・販売等、各社との連携した様々な取組を通して、日本が世界に誇る国立公園の美しい景観と、国立公園に潜在する魅力を世界に向けて発信し、国内外からの国立公園利用者の拡大を図ることで、人々の自然環境の保全への理解を深めるとともに、国立公園の所在する地域の活性化につなげることを目指しています。

引用:環境省 国立公園オフィシャルパートナーシッププログラム

<https://www.env.go.jp/nature/mankitsu-project/pdf/2021/partnership.pdf>

※国立公園満喫プロジェクト

政府が 2016 年3月に取りまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」の柱の一つとして、国立公園を観光資源として活用していくことが掲げられ、世界水準の「ナショナルパーク」を目指し、「国立公園満喫プロジェクト」を推進しています。国立公園の保護と利用の好循環により、優れた自然を守り地域活性化を図ることを目的に据えています。具体的には、①日本の国立公園のブランド力を高め、国内外の誘客を促進、②利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし、自然を満喫できる上質なツーリズムを実現、③地域の様々な主体が協働し、地域の経済社会を活性化させ、自然環境の保全へ再投資される好循環を生み出すこと、を目的に様々な取組を行っています。

引用：環境省 国立公園オフィシャルパートナーシッププログラム

<https://www.env.go.jp/nature/mankitsu-project/pdf/2021/partnership.pdf>

◆締結にあたって弊社が令和 7 年までにかけて取組予定の活動一覧

1. 令和4年3月熊本県策定「雲仙天草国立公園(天草地域)における国立公園満喫プロジェクトの取り組み方針」に沿い、上質な体験等の提供を通じて公園利用者数およびその滞在時間を増加させる取組
 - ① 当該公園地域での体験コンテンツ・プログラム等の情報を集約し作成したLPの保守改善
 - ② 令和4年度中に造成した体験コンテンツ・プログラムの観光商品化および磨き上げ
 - ③ 当該公園地域の体験コンテンツ・プログラムにおける地域ガイド団体との連携強化・質向上のためのワーキンググループの形成と運用プラットフォームの検討
 - ④ 当該公園の自然景観の魅力を訴求する新規体験コンテンツ・プログラムの新規造成
 - ⑤ 天草地域の食の魅力を訴求するイベントの開催
 - ⑥ 天草陶磁器イベントの開催による天草陶石文化に関する情報発信
 - ⑦ 世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連資産」の構成資産である天草の崎津集落の魅力訴求となるような観光商品の開発・販売による公園利用者の増大

2. 阿蘇くじゅう国立公園内における自社サービスを通じた当該公園利用者の利便性向上
 - ① 阿蘇山火口シャトルの定時運行の継続と火山状況に応じた安全管理の徹底
 - ② LPでの阿蘇火山見学規制情報の随時発信と改善・拡大した見学エリアの案内
 - ③ 阿蘇火口周辺事業者との連携によるインバウンド集客を目的とした海外エージェント向け定例セールス活動の実施
 - ④ 当該公園内での清掃活動

※ これらは同パートナーシップ締結に際し弊社が申請した取組予定の一覧です。

今後の現地状況や情勢に伴い変更・修正される場合があります。

◆参考



■ミオ・カミーノ天草

熊本県上天草市の総合情報発信施設。シーカヤックやレンタサイクル、ボルダリングなどのアクティビティや天草五橋を眺めながらのBBQ、カフェ、天草の地域産品のセレクトショップなど「新しい天草の遊び場」をコンセプトとして営業中。



■阿蘇山上ターミナル

阿蘇山火口見学の拠点として、火口シャトルバスの発着やインフォメーションセンター、グッズショップなどを擁しています。令和5年8月からは一般見学エリアのBゾーンが火山ガス規制となった場合も見学できるエリア(通称Eゾーン)にも専用バスを運行しています。



■くまもと旅行社。

熊本観光予約サイトとして、阿蘇くじゅう国立公園、雲仙天草国立公園(天草地域)を体感できるアクティビティや観光商品をオンラインで予約できるサービスを展開中。一般的な観光サイトや旅行会社では取り扱いのないディープな魅力を楽しむことができます。

<プレスリリースに関するお問い合わせ先>

株式会社KASSE JAPAN

地方創生事業部 地方創生課(担当:諸岡・林田)

TEL:096-325-8226 FAX:096-355-1296